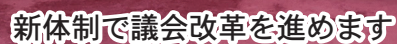


議会だより



議長に桑原議員、副議長に反甫議員を選出
予算・決算常任委員会を設置

第2回定例会では、市長から提案された条例の改正や補正予算など15件、議員から提案された議会会議規則の一部改正など2件の議案を審議しました。

一般質問

〔委員長〕

〔副委員長〕

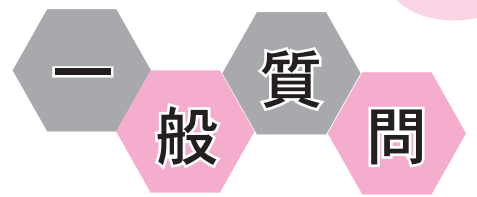
役 職 名	氏 名	役 職 名	氏 名	役 職 名	氏 名
議 長	桑原 佳一	予 算 常任委員	◎ 雪本 清浩 ○ 岩崎 雅秋	庁舎建設 特別委員	◎ 河合 馨 ○ 倉田賢一郎
副 議 長	反甫 旭		宇野 真悟 鳥野 隆生		殿本マリ子 鳥野 隆生
総 務 常任委員	◎ 今口千代子 ○ 倉田賢一郎 殿本マリ子 井舎 英生 京西 且哲 松本 妙子 岸田 厚		井舎 英生 西田 武史 河合 馨 米田 貴志 鳥居 宏次 岸田 厚 今口千代子	議 会 運営委員	◎ 西田 武史 ○ 岸田 厚 倉田賢一郎 殿本マリ子 鳥野 隆生 米田 貴志
	文教民生 常任委員		◎ 岡林 憲二 ○ 南 加代子 堂本 啓祐 反甫 旭 友永 修 西田 武史 河合 馨 中井 良介		◎ 松本 妙子 ○ 田中 市子 倉田賢一郎 堂本 啓祐 殿本マリ子 南 加代子 友永 修 京西 且哲 岡林 憲二 稲田 悦治 中井 良介
事 業 常任委員	◎ 鳥野 隆生 ○ 宇野 真悟 田中 市子 岩崎 雅秋 米田 貴志 雪本 清浩 鳥居 宏次 稲田 悦治	決 算 常任委員		岸貝清掃 施設組合 議会議員	堂本 啓祐 殿本マリ子 反甫 旭 西田 武史 岩崎 雅秋 河合 馨 米田 貴志 今口千代子

本会議 2・3 日目（6 月 22・23 日） 一般質問
 本会議 4 日目（6 月 24 日）
 補正予算議案の上程、予
 算常任委員会へ付託
 一般質問
 文教民生・事業・総務常任
 委員会（6 月 25・28・29 日）
 所管事務の報告
 付託議案の審査
 庁舎建設特別委員会（6 月 30 日）

所管事務の報告
 予算常任委員会（7 月 1 日）
 付託議案の審査
 本会議最終日（7 月 2 日）
 各常任委員長から付託議
 案の審査結果報告、採決
 議学会議規則、議員報酬
 及び費用弁償等に関する条
 例の特例に関する条例の一
 部改正案の上程、採決
 議会運営委員会による閉
 会中の継続調査の可決

市政に関する

要旨



令和3年第2回定例会では、19人の議員が一般質問を行いました(発言順に掲載)。

一般質問の様子は、市議会ウェブサイト上の録画中継のページでご覧いただけます。



URL: <https://www.city.kishiwada.osaka.jp/site/gikai/185rokuga.html>

また、8月下旬以降、市議会ウェブサイトの「会議録の閲覧」のページでも詳細をご覧いただけます。

スポーツ振興について

その他の質問 ○ふるさと寄附事業

烏野 隆生
(きしわだ未来)



【問】東京2020オリンピック競技大会には、本市出身者が出場予定であり、過去の大会で活躍したことのある本市出身者も少なくない。本市スポーツ推進計画にある、トップアスリートと市民が触れ合う機会の充実、トップアスリートを目指すジュニア選手や競技選手の養成といった取り組みは、今後さらに進めていくべきと思うが、どう考えているか。

【答】体育館や運動広場といった公共施設を安全に利用できるような環境整備を行う。また、地域や民間のクラブと連携し、身近な場所でトップ選手のプレーを見たり、触れ合える機会を作ったりすることで、「みる」「ささえる」スポーツの推進にも努めていく。

南 加代子
(公明党)



学校の衛生、循環型社会、母子健康への取り組み

①手洗いは基本的な感染症対策であるが、小・中学校では手が触れる回転式水栓が多く、感染の可能性があり不安との声を多く聞く。非接触で手洗いができるよう自動水栓化の推進を要望する。

②循環型社会への取り組みとして、プラスチックごみ削減に向けたマイボトルの普及を促進すべきである。熱中症対策にもなるため、公共施設などに浄水機能付きの給水機を設置するよう求める。

③産婦健康診査や新生児聴覚検査が経済的負担にならないよう助成が必要である。また、低出生体重児の治療や検査結果、成長を記録できるよう、母子健康手帳を補完するリトルベビーハンドブックを導入すべきである。

これからのワクチン接種はどうなるのか

その他の質問 ○市役所の業務合理化

雪本 清浩
(次世代政策会議)



コロナ禍で人との接触や外出を控える生活が1年以上続いていたが、ようやくワクチン接種が始まった。接種が滞りなく進められると期待していたが、予約が始まると、電話が繋がらなくなったり、システムの不具合で予約が取れなかったりするなどの問題が起こった。「いつになったら接種を受けられるのか」という市民からの声を聞いたのは私だけではないだろう。

今後、64歳以下の市民への接種が進められるが、対象人数は約12万人と高齢者の倍近い人数である。会社員、学生、主婦など時間的に拘束されている人も多いため、夜間や休日の接種についても十分に検討するよう求める。

企業誘致、ワクチン接種予約について

宇野 真悟
(大阪維新の会)



①本市の知名度は全国的に高く、企業進出の要望は多いが、市街地は宅地が多いため、進出可能な土地がほとんどない。そこで、産業系用途の開発行為に関する基準を定め、市街地調整区域内の幹線道路沿道の土地を農業以外にも利用できるようにし、企業を誘致すべきである。

②新型コロナウイルスワクチン接種の予約システムでは、システム開発業者の見通しが甘く、アクセス集中で障害が長期間継続したとのことだが、本市のシステムを担当するIT推進課は関与していなかった。重要なシステムの構築や契約を行うときは、IT推進課が専門的な見地に関わり、トラブルを未然に防ぐべきである。

小・中学校の適正規模及び適正配置について

友永 修
(公明党)



学校は地域活動の拠点であり、災害時の指定避難所でもある。適正化により、学校が使用されなくなった場合、売却されるのではないかなど、跡地の活用について不安視する意見が市民から多く寄せられている。これに対し、地域コミュニティの拠点、避難所として重要な役割を担ってきたことを踏まえ、地域に十分還元できる事業展開を幅広く検討すると市が回答したことから、今後も地域が望む学校施設の役割が維持されると確認できた。

第1期実施計画案について、地域住民により詳しく、より具体的な説明ができるよう、十分に準備し、地域住民の理解の下で進められるよう要望する。

小・中学校の統廃合計画の撤回を求める

中井 良介
(日本共産党)



市内の小規模校全てを廃校にする教育委員会の方針に、多くの市民が不安の声を寄せている。教育委員会は「小規模校は教育上の問題がある」と断定するため、どのような問題があるのか質問したところ、「クラス替えができない」「部活動の種類が少ない」「教職員数が少ない」と回答した。

質問に先立って小規模校を見学したが、クラス替えがなくても子どもの良い集団は生まれ、生徒は全員部活動をしている。また、教員の加配により全教科専任で授業が行われており、問題はないと考える。狭い山滝中学校に小学校を押し込み、小学生や中学生の教育環境を悪くする統廃合計画は撤回すべきである。

葛城修験道や特産品のPRについて

倉田 賢一郎
(大阪維新の会)



①葛城修験が日本遺産に認定され、1年余りが経過した。本市には構成文化財が三つあり、看板の設置などが予定されているが、PR不足と思われる。本市ウェブサイトを、葛城修験日本遺産活用推進協議会で積極的にPRし、山手地域の観光振興から市域全体の活性化を図るよう要望する。

②2025年開催の大阪・関西万博に向けて泉州の食を世界に発信する「泉州美食EXPO」が始まり、主催者である大阪調理製菓専門学校と本市は連携協定を締結した。これを特産品PRの絶好の機会とし、この新たな取り組みと連動して、ふるさと寄附や岸和田ブランドをさらに拡充するよう要望する。

小中一貫教育の推進について

堂本 啓祐
(大阪維新の会)



岸和田市小中一貫教育基本方針では、施設一体型の小中一貫校をモデル事例として先行実施し、その後全ての中学校区で施設分離型小中一貫校を推進するとしている。

施設一体型は教育の効果を最大限引き出せるが、施設分離型であっても、工夫により小学校高学年からの中学校部活動への参加、学校行事の合同実施、小学校での外国語教育などの専門的な指導といった小中一貫教育のメリットを十分に引き出せる。2カ所で計画している施設一体型の実現には、まだ時間がかかると思われるため、先に施設分離型の実施が可能な中学校区からモデル事例として推進していくよう要望する。

市政に関する一般質問

今口 千代子
(日本共産党)

①第4期きしわだ男女共同参画推進プランに関連して、次の4点について要望する。

(1)審議会などへの女性参加の促進

(2)市役所での女性職員の職域拡大と活躍の場の増大

(3)地域防災活動における女性の声の活用

(4)コロナ禍における女性の生理の貧困問題解消に向けた、各学校の女子トイレでの生理用品の設置

②難聴のため、人とのコミュニケーションが取りにくく、社会的に孤立し、認知症やうつ病になる高齢者が増えている。補聴器の価格が高く、購入をためらう人もいるため、障害者手帳の取得に至らない難聴者への支援として補聴器購入費用の助成制度を創設するよう要望する。

男女共同参画プラン推進、難聴者支援について

米田 貴志
(公明党)

新型コロナウイルススワクチンの接種は、感染拡大終息の切り札であり、本市でも円滑に進める必要があるため、次の4点を求める。

①接種希望者を漏らさないために、障害などで予約が困難な人に対しては、関係課が連携してサポートチームをつくり、接種予約を手助けすること

②高齢者施設の接種状況や接種時の課題・問題点を積極的に把握し、的確にサポートすること

③早期接種希望者が国や府の大規模接種会場を利用できるよう、64歳以下の接種対象者への接種券発送を早めること

④職域接種を行う企業や団体に対し、市独自の支援金を交付すること

新型コロナウイルススワクチン接種について

その他の質問 ○デジタル活用支援事業
○岸和田市観光振興計画岸田 厚
(日本共産党)

①64歳以下のワクチン接種対象者は多いため、予約時は相当な混乱が予測される。予約が受付開始日に集中しないように、段階的に受け付けるべきである。また、不用意に進めずに、確実な接種方針を定めることを求める。

②感染拡大防止には、無症状感染者などの発見と保護・治療が必要である。そこで、臨時交付金の活用も視野に入れ、PCR検査費用を助成すべきである。

③事業者の経営継続を図るため、昨年度実施した、融資を受けている事業者への20万円の給付金支給を再考すべき。また、早急に事業者の実態を調査し、臨時交付金の活用も視野に入れ、希望に沿った支援を行うよう求める。

新型コロナウイルス感染症対策について

京西 且哲
(次世代政策会議)

令和2年度の職員採用試験では、技術職で土木職員9名、建築職員3名、情報処理職員1名が不足となった。不足を事務職員で補充しており、専門知識が必要な業務の遂行に支障が出ている。特定行政庁として国から委任されている建築確認などの許可や、道路、上下水道の生活インフラの整備に係る業務は、市民生活を守るための行政の重要な役割である。技術職員の確保は全国的な課題のため、自治体間の競争になりつつある。人事課の対策を強化し、広域連携による行政経営の課題とすべきである。

岸和田市 職員採用状況

年度	土木	建築	情報処理	事務
令和元年度	10	13	1	1
令和2年度	9	3	1	1
令和3年度	10	13	1	1

技術職員の確保対策を早急に行うべき

その他の質問 ○広域行政推進の連携による自治体経営

殿本 マリ子
(誠和クラブ)

教育委員会は、より良い教育環境の整備と学校教育の充実を図るため、小規模校の統廃合と小中一貫校の設立を計画している。これでは小学校がなくなる地域があり、コミュニティの希薄化が進み、地域に子育て世代がいなくなる恐れがある。現在、統廃合の対象校は、小規模だからこそ、目が行き届いた良い教育ができていて、小規模校では、教員が少なくなり、1人当たりの負担が重くなるなどの課題がある。計画にあるスクールバスなどの送迎に高額な費用を使うのではなく、教員の人数を増やすことを検討すべきである。地域や子供たちにとっての最善策を地域住民と共に考え、本計画を見直すよう求める。

岸和田市立小・中学校適正化の必要性を問う

その他の質問 ○新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種の現況

反甫 旭
(きしわだ未来)

【問】チビッコホームの待機児童は、6月1日現在、5小学校で31人(1年生9人を含む)である。今後の対策をどのように考えているのか。

【答】夏休みに臨時チビッコホームを開設するほか、待機児童のいる期間のみ、定員に余裕のある近隣のチビッコホームへ送迎したり、小学校の余剰教室を借りたりできないかなど、あらゆる待機児童解消策について検討しているところである。

待機児童の保護者の意向把握のため、アンケートを実施したいと考えている。児童・保護者の負担増とならないような待機児童解消の方策について、引き続き、調査・研究していきたい。

チビッコホームの待機児童について

その他の質問 ○臨海部における良好な憩いの空間づくり
○感染症対策松本 妙子
(公明党)

①生理用品を買い取るお金がないなどの「生理の貧困」が全国的な問題となっている。この度、コロナ禍における女性の負担軽減のため、市の防災備蓄用生理用品が入手困難な人に配布された。しかし、社会的に孤立している人もおり、必要な人全てに届いていないのではないかと。NPOなどの協力も得て、相談者の下に向くアウトリーチ型支援でも、生理用品が必要な人に届くようにすべきである。また、各学校の保健室に十分な数を常備すべきである。

②コロナ禍による生活への不安から、DVの相談が増えている。DV対策は社会の変化に対応する必要がある。今後、予防啓発活動と相談窓口の体制強化に努めるよう求める。

女性活躍推進について

西田 武史
(次世代政策会議)

①防災行政無線は、緊急時や災害情報などの伝達手段として活用されているが、現状の無線では何を言っているかわからなかったり、放送していることに気付かなかつたりするなどの問題がある。早急に対応を考えるべきである。

②コロナ禍のステイホームで園芸をする人が増え、園芸土の処分に困るとの相談が増えている。だが、家庭で不要になった園芸土は、法律上、一般廃棄物に該当せず、市は収集・処分を行っていない。再生利用目的として収集することを求める。また、家庭でも再利用するよう啓発すべきである。



防災行政無線と家庭排出の園芸土について

鳥居 宏次
(誠和クラブ)

【問】本市の人口予測では、令和12年に17万3千人、32年では13万9千人と推定されている。財政計画では、6年度、7年度の収支不足の合計額は約21億円になる。人口減少社会に見合った、職員定数の管理やデジタル化による事務の効率化を図るべきである。どのような行財政改革を考えているのか。

【答】職員定数については、年齢構成などを総合的に勘案した定員管理計画案を今年度中に策定する予定である。デジタル化については、市民懇話会やスポーツ施設の貸し出し予約などをオンラインで行っている。マイナンバーカードを利用した子育てや介護のワンストップサービスなどのオンライン化も検討を進める。

人口減少社会への対応について

市政に関する

一般質問

9月定例会の日程(予定)

8月24日(火) 本会議
25日(水) 本会議
26日(木) 本会議
30日(月) 文教民生常任委員会
31日(火) 事業常任委員会
9月1日(水) 総務常任委員会
2日(木) 庁舎建設特別委員会
3日(金) 予算常任委員会
6日(月) 本会議・決算常任委員会
8日(水) 決算常任委員会
~14日(火)
16日(木) 本会議

・開会時間は午前10時です。
(9月6日の決算常任委員会は)
午後1時開会予定です。
・傍聴される方は、当日、3階議会受付
までお越しください。

○本会議の様子をテレビ岸和田、ラヂオき
しわだで放送します。詳細は、各放送局
のウェブサイトをご確認ください。
また、委員会を市議会ウェブサイトで生
中継します。



田中 市子
(日本共産党)

①コロナ禍の影響を受け、生活困窮者が増加して
いる。生活保護は憲法第25条で保障された権利である
が、扶養照会があるため、申請をためらう人も多い
柔軟な対応を求める厚生労働省通知に基づき個々に
寄り添った対応をすべきである。また、ためらわず
に相談できるようにウェブサイトの表記についても
工夫することを要望する。

②チビッコホームについて、国の運営指針では、1
ホーム当たりおおむね40人以下とするところ、
50人で運用している。静養スペースがない施
設も多く、コロナ禍でも安心・安全に過ごせ
るよう、また、待機児童も解消できるように、
施設数を増やして対応することを求める。



井舎 英生
(無所属クラブ)

生活保護、チビッコホーム

①重度障害者及び医療的ケア
の必要な障害者が利用できる
短期入所施設と、介助者父母
の心身を支えるために安心し
て長期暮らしをせるグループホ
ームを岸和田市内に増設する
よう要望する。さらに、軽度
の障害者が地域に1人で住め
る市営住宅などの確保
を強く求める。

②来年度から市立幼稚
園における給食開始の
具体的検討を求める。

市立幼稚園の園児・保護者は、来年5月からの
給食(小学校・保育所給食、デリバリーランチ)を
待ち望んでいます。

いただきます

いただきます

たのしい“給食”を実現して
ください。お願いします。

成人期以降の障害者・介助者への支援と幼稚園給食
その他の質問
○市民と行政をつなぐWEB・LINEアプリの開発
○小学校・中学校教育におけるICT環境

全会一致で可決した議案

第1回臨時会

第2回定例会

議案番号	件名・内容
議案第41号	専決処分の承認を求めるについて (岸和田市市税条例の一部改正について)
議案第42号	専決処分の承認を求めるについて (令和3年度岸和田市一般会計補正予算(第2号)) 新型コロナウイルス感染症による影響が長期化しており、低所得のひとり親子育て世帯に、生活支援のための特別給付金を支給するものです。
議案第43号	監査委員選任につき同意を求めるについて (山本貞徳氏)
市議案第2号	岸和田市議会委員会条例の一部改正について

※傍聴される方は、市役所新館3階議会受付へお越しください。

※3分科会同時開催です。

開催日	時間
8月10日(火)	午前10時
9月28日(火)	午前10時
10月20日(水)	午前10時

政策討論会を開催します

第一分科会
…市民センターの役割

第二分科会
…登録・指定文化財及び文化的・歴史的文化財の保護

第三分科会
…本市の自然保全エリアのあり方

議案番号	件名・内容
議案第44号	専決処分の承認を求めるについて (令和3年度岸和田市一般会計補正予算(第3号)) 新型コロナウイルス感染症による影響が長期化しており、低所得の子育て世帯(ひとり親世帯以外)に、生活支援のための特別給付金を支給するものです。
議案第45号	岸和田市競輪場売店管理条例の廃止について
議案第46号	職員の特殊勤務手当に関する条例及び岸和田市ふるさと寄附条例の一部改正について
議案第47号	岸和田市市税条例等の一部改正について
議案第48号	岸和田市手数料条例の一部改正について
議案第49号	岸和田市国民健康保険条例の一部改正について
議案第50号	岸和田市環境保全条例の一部改正について
議案第51号	工事請負契約の締結について (岸和田競輪場施設整備工事(建築その3))
議案第52号	財産取得について (災害対応特殊消防ポンプ自動車(CD-I型))
議案第53号	町の区域の変更及び町の新設について
議案第54号 議案第55号	町の区域の変更について
議案第56号	専決処分の承認を求めるについて (令和3年度岸和田市一般会計補正予算(第4号)) 新型コロナウイルスのワクチン接種体制を強化し、7月末までをめどに、高齢者のワクチン接種を進めるためのものです。
議案第57号	令和3年度岸和田市一般会計補正予算(第5号)
議案第58号	令和3年度岸和田市一般会計補正予算(第6号) 就労による自立を図るため、また円滑に生活保護の受給へつなげるために、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金を支給するためのものです。
市議案第3号	岸和田市議会会議規則の一部改正について
市議案第4号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の特例に関する条例の一部改正について

議員報酬及び費用弁償等に関する条例の特例に関する条例を一部改正しました

議員が病気などで長期間議会の会議を欠席した場合、その期間に応じて議員報酬などを減額することを規定した条例について、政治分野における女性の参画拡大を目指すため、女性が議員として活動するときの制約要因の解消を目的として、減額の適用除外の事由に議員の出産を追加するように条例を一部改正しました。

【お詫びと訂正】

議会だより184号(令和3年5月1日号)1面の予算特別委員会委員長報告 審査過程での主な意見・要望の文面の行末から2行目で、「法的責任」は、「公的責任」の誤りです。お詫びして訂正します。